

NSG

GROUP

NSG グループ

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～ 2017年6月30日)

諸岡 賢一

代表執行役副社長兼CFO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

イアン・スミス

経理部 グループファイナンス担当ディレクター

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)

目 次

要点

決算概要

事業状況

まとめ

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)

目 次

要点

決算概要

事業状況

まとめ

要点：2017年4月－2017年6月

- 第1四半期の業績は計画通り、中期経営計画(MTP) フェーズ2の初年度として順調なスタート
- 欧州は好調な市場の影響を享受
- 高機能ガラス事業の業績は改善
- 生産性の改善が進展

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)

目 次

要点

決算概要

事業状況

まとめ

連結損益計算書

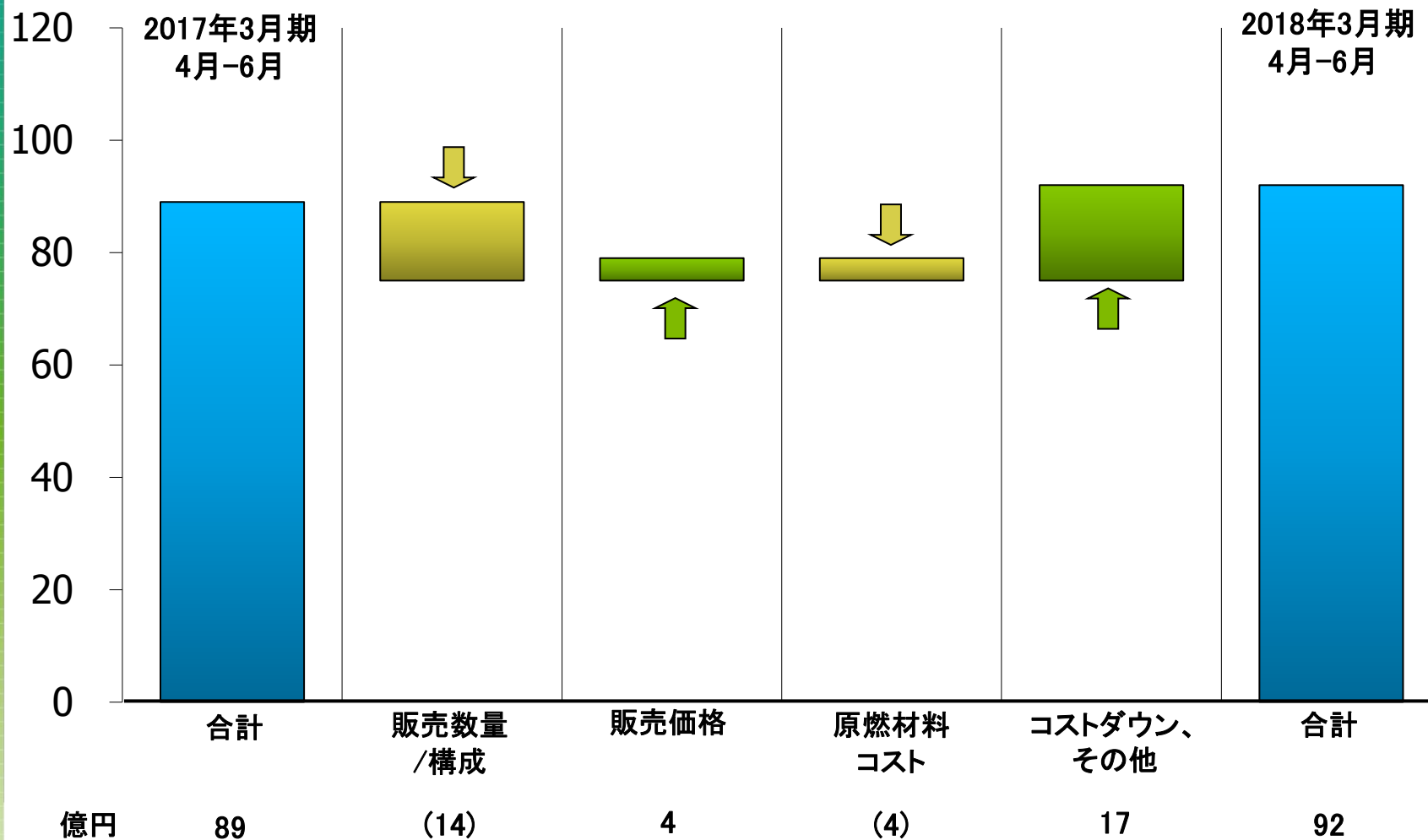
(億円)	2017年3月期 4月-6月期	2018年3月期 4月-6月期	前年比
売上高	1,505	1,469	-2%
無形資産償却前営業利益	89	92	3%
償却費 *	(18)	(5)	
営業利益	71	87	23%
個別開示項目	78	(4)	
金融費用(純額)	(42)	(39)	
持分法による投資損益	0	4	
税引前利益	107	48	
当期利益	44	28	
親会社の所有者に帰属する当期利益	39	25	
EBITDA	162	162	

* ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

第1四半期業績は計画通り

営業利益差異分析

(無形資産償却前)



生産性の改善が進展

個別開示項目

(億円)	<u>2017年3月期</u>	<u>2018年3月期</u>
	<u>4月-6月期</u>	<u>4月-6月期</u>
保険金の受取による利益	-	10
有形固定資産等の売却による利益	77	-
事業撤退による利益	9	-
関連会社に対する投資の売却による利益	7	-
設備休止に係る費用	-	(11)
有形固定資産等の減損損失	(7)	(2)
リストラクチャリング費用	(7)	(2)
その他	(1)	1
	<u>78</u>	<u>(4)</u>

前年は有形固定資産等の売却益を計上

連結キャッシュ・フロー

(億円)	2017年3月期 4月-6月期	2018年3月期 4月-6月期
当期利益	44	28
減価償却費	91	77
減損損失	7	2
有形固定資産等売却益・事業撤退による利益	(94)	(2)
法人所得税支払額	(19)	(14)
その他	62	(3)
営業活動によるキャッシュ・フロー（運転資本の増減考慮前）	91	88
運転資本の増減	(111)	(139)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(20)	(51)
有形固定資産の取得	(78)	(71)
資産売却収入	86	3
その他	(5)	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	3	(66)
フリー・キャッシュ・フロー	(17)	(117)

運転資本の季節的な変動の影響を受ける

主要財務指標(KPI)

	<u>2017年3月末</u>	<u>2017年6月末</u>
ネット借入(億円)	3,133	3,319
ネット借入/EBITDA	5.0x	5.3x
ネット借入/純資産比率	2.3x	2.4x

	<u>2017年3月期 4月-6月期</u>	<u>2018年3月期 4月-6月期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	4.0x	4.5x
営業利益率*	5.9%	6.3%

* 無形資産償却前営業利益

収益関連指標の改善

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)

目 次

要点

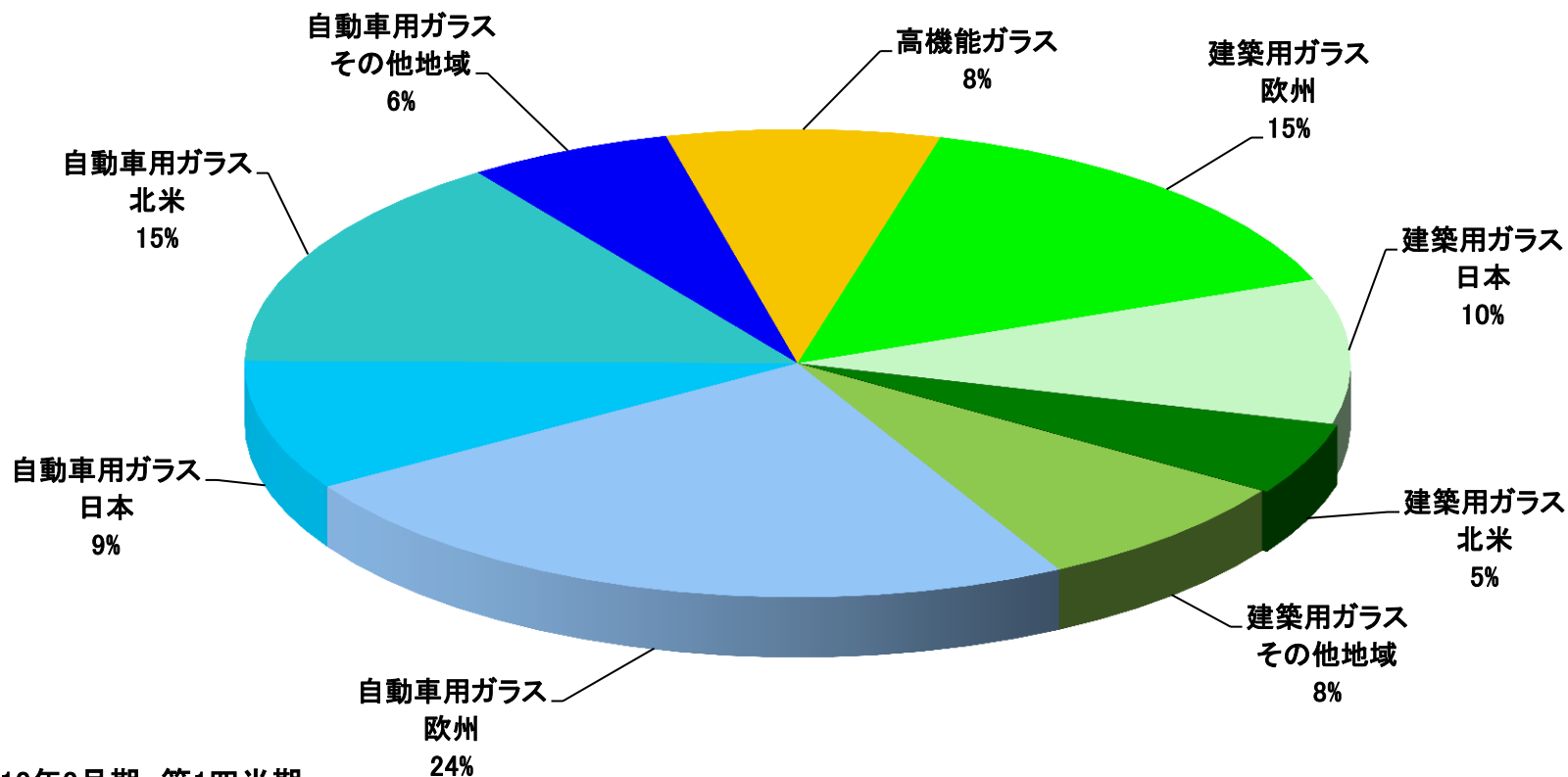
決算概要

事業状況

まとめ

事業別売上高

1,469億円

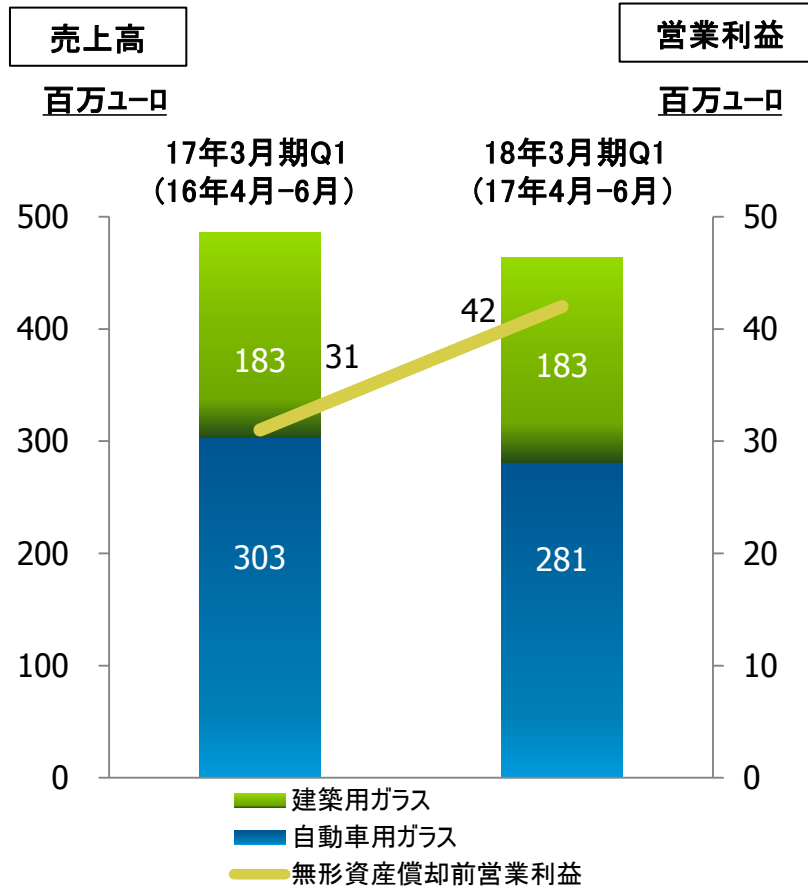


2018年3月期 第1四半期
(2017年4月-6月)

グローバルに事業展開

欧州

2017年3月期第1四半期との比較



建築用ガラス事業

- 好調な需要に支えられ、価格は堅調
- 生産は順調に推移

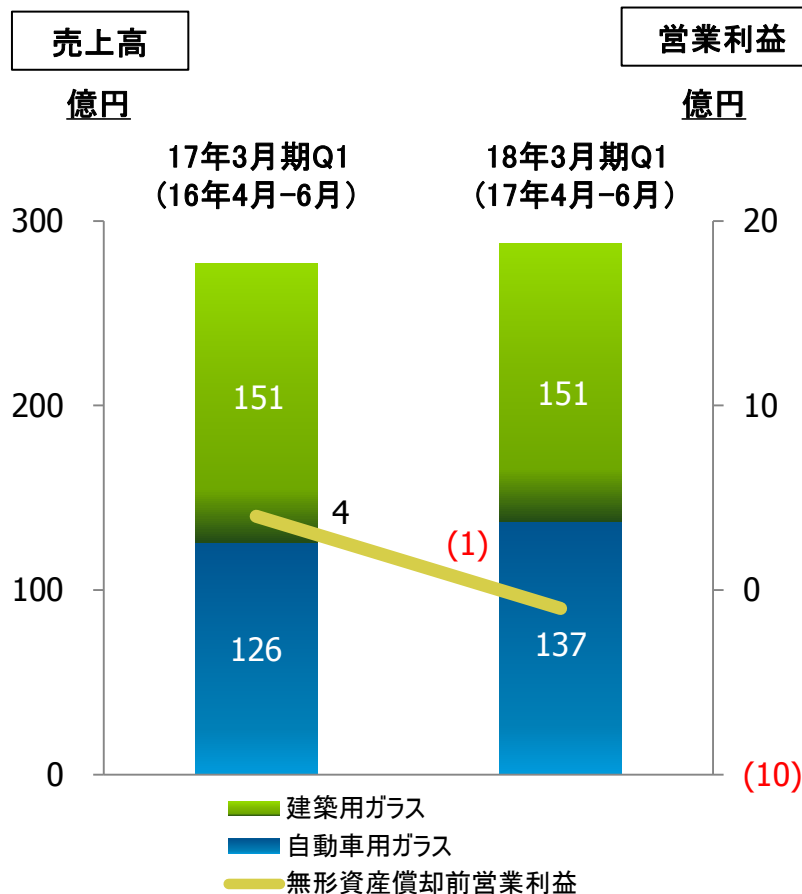
自動車用ガラス事業

- 生産性の改善が進展し、増益

両事業とも業績堅調

日本

2017年3月期第1四半期との比較



建築用ガラス事業

- 販売数量と価格は前年並みの水準
- 品質に関連した引当金等の一過性の要因による影響を受ける

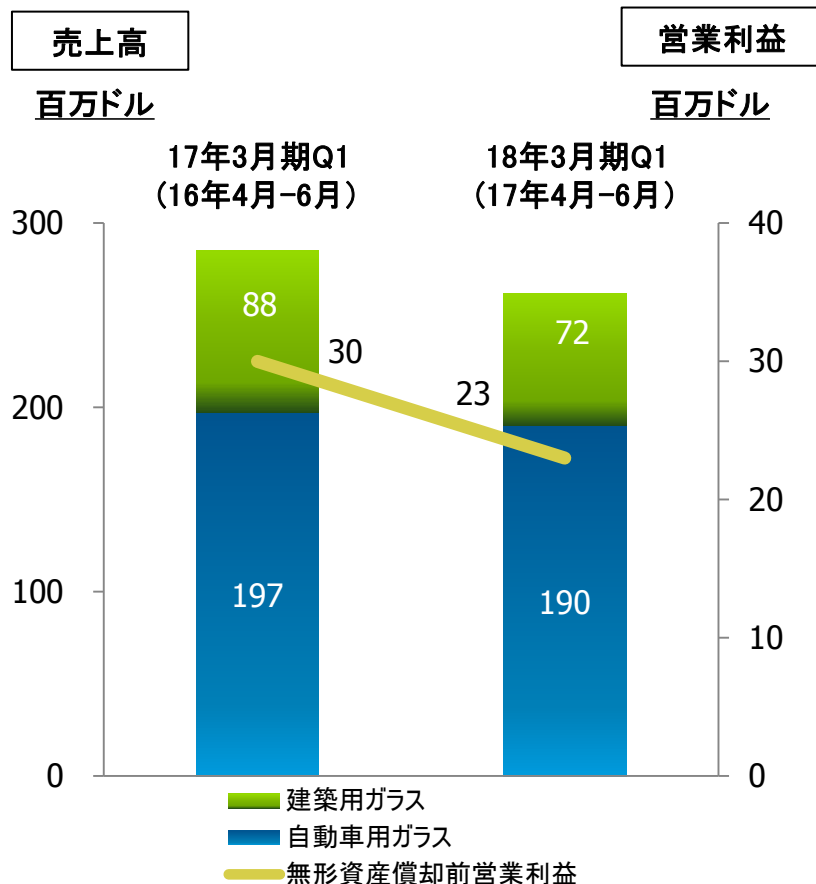
自動車用ガラス事業

- 乗用車販売台数の増加を反映し増収

一過性の要因により減益

北米

2017年3月期第1四半期との比較



建築用ガラス事業

- 生産能力の一時的な減少と主要顧客における設備切り替えの影響を受け、減収減益

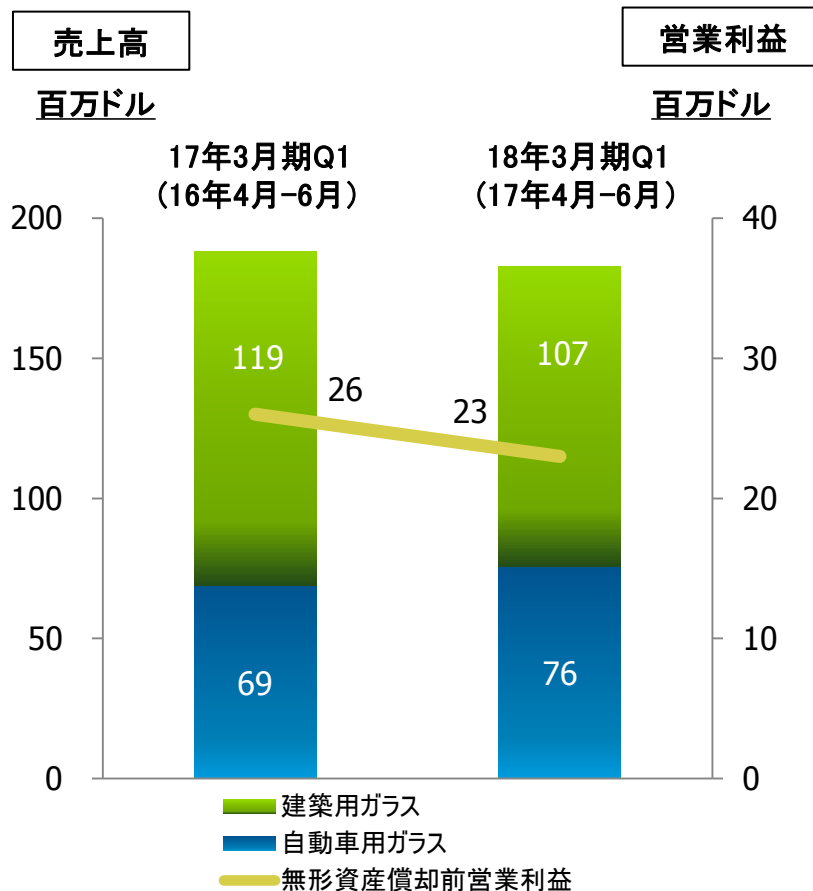
自動車用ガラス事業

- 生産性の改善の一方、市場における数量減の影響を受け、減収減益

一時的な事象による影響を受ける

その他地域

2017年3月期第1四半期との比較



建築用ガラス事業

- 国内向け市場は改善
- ベトナムのフロート窯定修の影響により、減益
- 主要顧客における設備切り替えの影響により減収

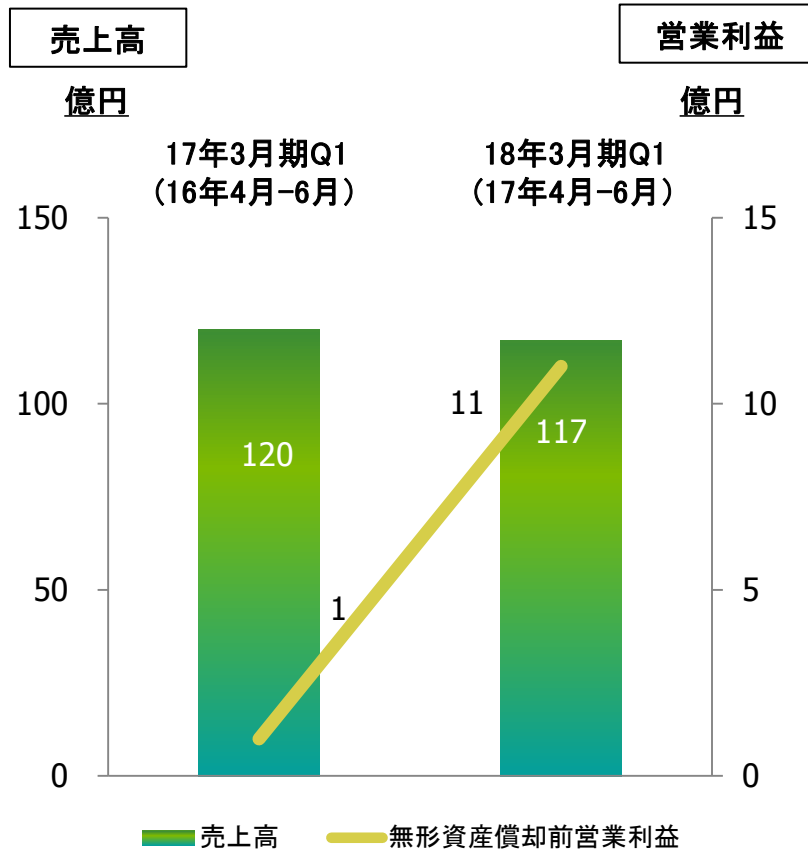
自動車用ガラス事業

- 南米の市場では改善の兆候が見られる

国内向け市場では改善が見られる

高機能ガラス事業

2017年3月期第1四半期との比較



高機能ガラス事業

- 一部製品の価格改善により、ディスプレイの赤字は縮小
- プリンター用レンズの数量は増加
- グラスコードの販売数量は堅調に推移
- バッテリーセパレーターの業績は引き続き好調

全てのセグメントで利益改善

持分法適用会社

2017年3月期第1四半期との比較

(億円)	<u>2017年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>2018年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
持分法による投資損益	0	4

- セブラセ(ブラジルのジョイント・ベンチャー)の業績は前年度からわずかに改善

持分法による投資利益は改善

2018年3月期第1四半期決算報告

(2017年4月1日～2017年6月30日)

目 次

要点

決算概要

事業状況

まとめ

まとめ

- 第1四半期の業績は計画通り、中期経営計画(MTP) フェーズ2の初年度として順調なスタート
- 欧州は好調な市場の影響を享受
- 高機能ガラス事業の業績は改善
- 生産性の改善が進展
- 2018年3月期の通期業績見通しは変更なし

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高

2017年3月期第1四半期との比較

(億円)	2017年3月期 4月-6月期	2018年3月期 4月-6月期	増減
建築用ガラス	599	574	(25)
欧州	223	224	1
日本	151	151	0
北米	96	80	(16)
その他の地域	129	119	(10)
自動車用ガラス	785	776	(9)
欧州	370	344	(26)
日本	126	137	11
北米	214	211	(3)
その他の地域	75	84	9
高機能ガラス	120	117	(3)
欧州	18	19	1
日本	62	59	(3)
北米	3	3	0
その他の地域	37	36	(1)
その他	1	2	1
欧州	0	1	1
日本	1	1	0
北米	0	0	0
その他の地域	0	0	0
合計	1,505	1,469	(36)

償却前営業利益*

2017年3月期第1四半期との比較

(億円)	2017年3月期 4月-6月期	2018年3月期 4月-6月期	増減
事業別			
建築用ガラス	65	59	(6)
自動車用ガラス	37	41	4
高機能ガラス	1	11	10
その他	(14)	(19)	(5)
合計	89	92	3
地域別			
欧州	35	48	13
日本	(6)	(5)	1
北米	31	24	(7)
その他の地域	29	25	(4)
合計	89	92	3

*: 無形資産償却前営業利益

連結貸借対照表

	2017年3月末	2017年6月末	増減
(億円)			
資産	7,902	7,795	(107)
非流動資産	5,278	5,361	83
のれん・無形資産	1,623	1,703	80
有形固定資産	2,452	2,498	46
その他	1,203	1,160	(43)
流動資産	2,624	2,434	(190)
現金及び現金同等物	849	571	(278)
その他	1,775	1,863	88
負債	6,565	6,388	(177)
流動負債	2,232	2,185	(47)
金融負債	798	837	39
その他	1,434	1,348	(86)
非流動負債	4,333	4,203	(130)
金融負債	3,196	3,060	(136)
その他	1,137	1,143	6
資本	1,337	1,407	70
親会社の所有に帰属する持分	1,241	1,323	82
非支配持分	96	84	(12)
負債及び資本	7,902	7,795	(107)

為替レート

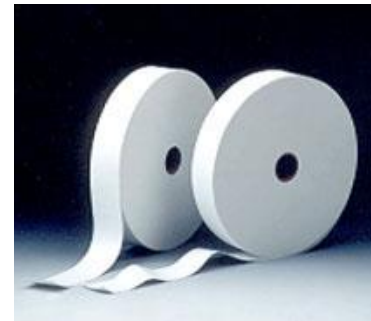
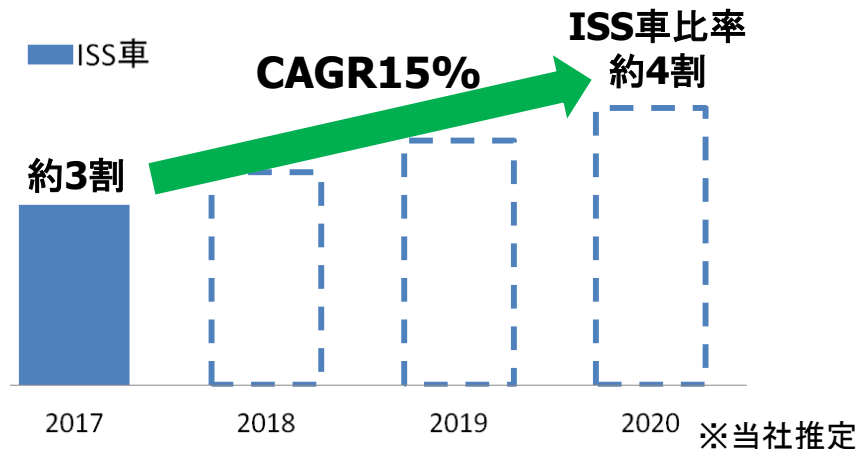
	<u>2017年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>2017年3月期</u>	<u>2018年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	155	142	142
円/米ドル	108	108	111
円/ユーロ	122	119	122
期末為替レート:			
円/英ポンド	138	139	146
円/米ドル	103	111	112
円/ユーロ	114	119	128

VA製品紹介 - 成長する鉛蓄電池用セパレーター

セパレーター事業：高機能ガラス事業の一分野。鉛蓄電池用セパレーターが主軸製品

ISS*向け鉛蓄電池用セパレーター *ISS: アイドリングストップ&スタート

- 自動車の省燃費、省エネルギー化、環境対策を背景にISS車の増加が見込まれグローバルで2020年までにCAGR 15%で成長
- ISS用電池では従来のバッテリーと比べ充放電の負荷が増大するため、より高い耐久性や高度な電池特性が求められる
- セパレーターは電池特性向上において重要な役割を担い当社はこの分野のテクノロジーリーダー
- ISS用電池向けガラスマット(AGM)並びにポリエチレン(PE)セパレーターの両方を有している唯一のメーカー



ガラスマット(AGM)
セパレーター



ポリエチレン(PE)
セパレーター

コア技術を通じ燃料削減・CO2排出削減へ貢献

MTPフェーズ2: 4つの重点施策概要

VA No.1 戦略の推進

- 「成長が見込める分野」「当社の強みがある分野」でトップポジションを狙う
- 方策:
 - －NSGの技術力、ブランド力が最大限発揮できる地域分野、製品においてVA化にリソースを集中
 - －顧客との関係強化、戦略的提携も活用

オンライン
コーティング
技術

真空技術

高精度プレス
技術

顧客視点の
R&D・マーケ
ティング

リーン
ものづくり

ビジネスカルチャーイノベーション

- リーンな事業体制の作りこみ
- 方策:
 - －すべての仕事の見直し
 - －各地域の「ものづくり」体制強化
 - －顧客視点に基づくグローバル研究開発体制の最適化
 - －マーケティング面における顧客志向の強化

成長ドライバーの確立

- 有望な複数の成長ドライバーの立ち上げ
- 有望分野:
 - －建築(省エネ、創エネ、健康、デザイン性)
 - －自動車(自動運転、コネクテッド、UV・IRカット、軽量化)
 - －高機能(独自技術を生かした新製品展開、用途開発)

自動運転

省エネ・創エネ

次世代情報
通信分野

VAガラスカンパニー

迅速な
意思決定

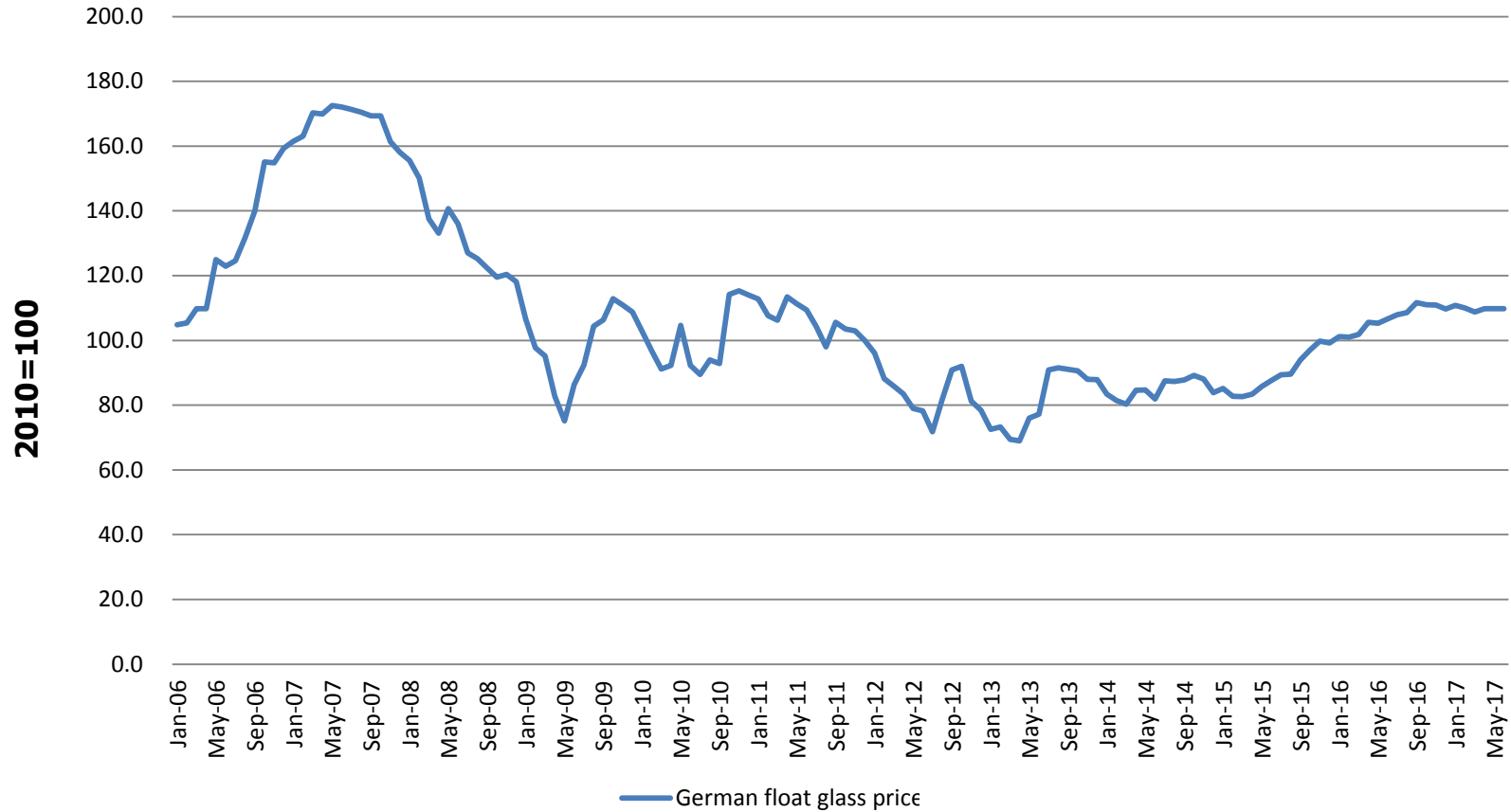
グループ横断
のコスト削減

グローバル経営の強化

- グループ全体最適を追求し、グローバル経営を進化させる
- 方策:
 - －人材開発の推進、多様な人材の登用
 - －柔軟な組織運営と迅速な意思決定ができる組織
 - －グループ横断的なコスト削減の継続

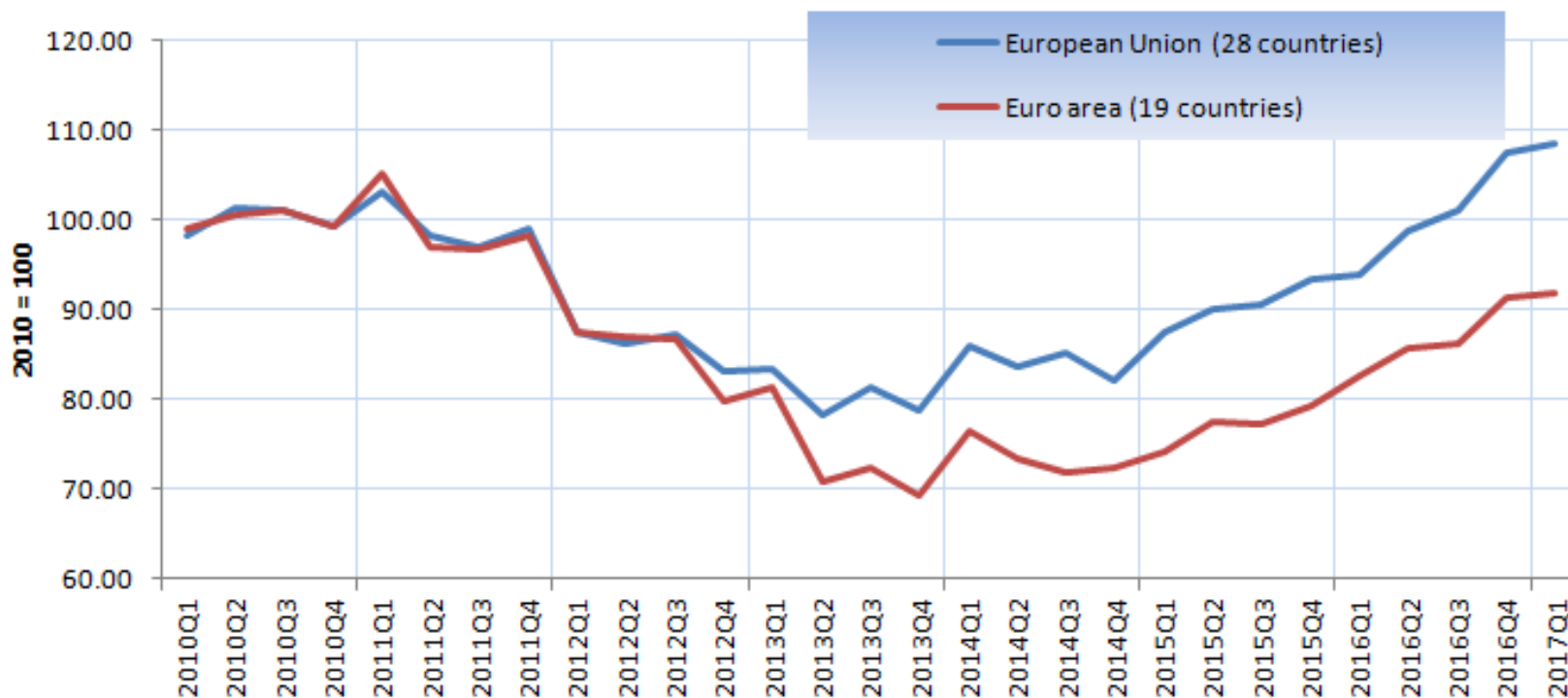
ドイツ板ガラス価格指標

2006年1月から2017年6月までの ドイツ板ガラス価格の推移



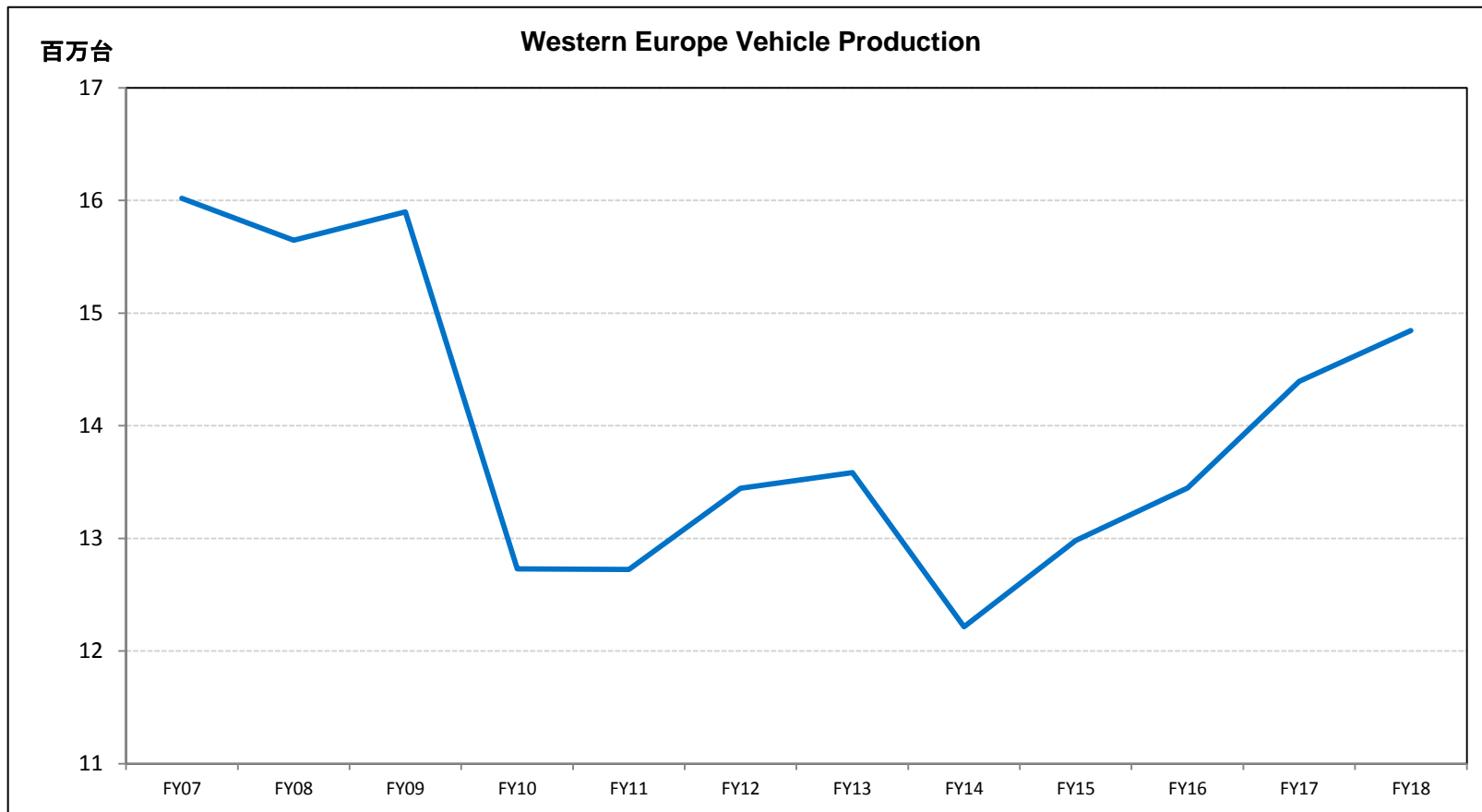
欧州住宅建設許可指数

Production Statistic - Building Licences (dwellings)



Source: Eurostat

西欧乘用车生产台数



Source: IHS, LMC July 2017

NSG

GROUP